

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
健康教育事業(負担金分)	491		01	01	一般会計
基本施策	1	10万市民の健康を維持する	04	04	衛生費
			01	01	保健衛生費
			01	01	保健衛生総務費
担当部課名		島ヶ原支所 健康福祉課	102	102	保健事業
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	02	健康教育事業(負担金分)

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
40歳以上の住民	生活習慣を見直すとともに健康についての理解と関心が高まる				
<p>事業の目的</p> <p>本事業(健康教室の内容については伊賀市全体をひとつと考え、各支所で担当する内容を毎年検討している。各支所が担当する内容は毎年異なり、その内容に応じ回数も毎年異なる。)</p> <p>内容</p> <p>○シェイプアップ教室(病態別健康教育)の実施                  ○月1健康運動教室(一般健康教育)の実施                  ○住民健康づくりグループ(2グループ・一般健康教育)勉強会の実施</p>					
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	老人保健法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	281	93	102
報償費	135	55	55
需用費	78	36	30
使用料及び賃借料	51		
その他	17	2	17
合計(A+B)	3,881	3,693	3,702
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	196	62	68
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,685	3,631	3,634
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
病態別健康教育	回	14	10	10			
一般健康教育	回	27	25	25			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
健康教育延参加人数	健康に関心が高く知識を得て実践したいと考えている人がどのくらいいるのかにより判断する	人	295 目標 ( 250 )	250	250
住民健康づくりグループメンバー数	健康について継続して勉強したいと考えている人がどのくらいいるのかにより判断する	人	31 目標 ( 30 )	32	33

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

健康について関心の高い人はどんな教室でも参加してくれるため、どの教育をしても同じメンバーになってしまいがちのため、啓発方法教室内容等の検討が必要である。また、教室のあと健康づくりを継続することが必要であり、健康づくりグループの紹介や継続して健康づくりをしやすい環境づくりの検討も必要である。

評価	必要性	4	事業を現状維持する。 参加者の固定化傾向がみられるが、健康づくりのためには有効な事業である。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		